

日暮里・舎人ライナー混雑対策についての要望書（案）

令和8年10月13日時点の
要望書案となります。

平素より、足立区行政にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日暮里・舎人ライナーにつきましては、当区西部における交通空白地帯の解消、沿線の道路混雑軽減、地域経済の活性化などをもたらすとともに、沿線住民の生活を支える重要な路線となっています。

東京都におかれましては、これまで車両のロングシート化、時差 Biz キャンペーン等、ハード・ソフト両面から混雑対策に積極的に取り組まれてきました。

しかしながら、現在も対策を上回る利用者の増加によって、直近6年連続で混雑率は全国で最も高い状況が続き、混雑緩和は喫緊の課題となっております。

このため、混雑緩和対策として当区と連携したバスを活用した実証実験を実施しました。バス利用者にとっては、座って快適に利用できるという声が届く一方で混雑率の解消にはつながらないと判断いたしました。

つきましては、下記のような速効性のある混雑緩和対策を強く求め、ここに要望書を提出いたします。また、中長期的には、六両編成化など抜本的な混雑対策をご検討いただけますと幸いです。

東京都におかれましては、格段のご配慮賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 運転間隔（3分14秒）の短縮
2. 時差 Biz キャンペーンの通年にわたるラッシュ時間帯前後の実施とより魅力的なインセンティブへの強化
3. 増便なども踏まえた舎人公園駅始発車両の導入
4. 朝夕ラッシュ時における全車両の新型車両化

以上

令和8年 月 日

東京都知事

小 池 百 合 子 様

足立区長

近 藤 弥 生